

阪大外国語学部 × みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン

出産と子育て インドの通過儀礼を とおして

13億の人口を抱えるインドは、子供の多い国です。子供の誕生と成長は、出産前からはじまる通過儀礼をとおして、家族や親類縁者に見守られます。北インドのヒンドゥー教徒の家庭での子供の通過儀礼と大家族における子育ての役割分担についてご紹介します。また、現在日本で子育て真っ最中のスィング先生はインドと日本の出産・子育て事情の違いについてヒンディー語でお話しします（通訳あり）。

ヴェーダ・プラカーシュ・スィング

大阪大学言語文化研究科言語社会専攻特任教員
インドのマッディヤ・プラデーシュ出身。
デリー大学修士課程を経て、ジャミア・ミリア・
イスラミア大学にて博士号（ヒンディー文学）。
2017年より大阪大学外国語学部ヒンディー語専攻
と同大学院にて教鞭にたつ。



長崎広子

大阪大学言語文化研究科言語社会専攻准教授
大阪外国語大学ヒンディー語専攻、京都大学
大学院（梵語学・梵文学）を経て、アグラ・
アンベードカル大学にて博士号（ヒンディー
文学）。



【日時】 2019年10月17日 (木) 19:00-20:30

【場所】 みのお市民活動センター

☎ 072-720-3386

箕面市坊島4-5-20 みのおキューズモール WEST1-2F

【お申込受付】 10月7日 朝 9 時より

大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

【参加費】 300 円（資料・茶菓代）

【定員】 24 名



主催：大阪大学外国語学部・みのお市民活動センター（協力：大阪大学21世紀懐徳堂）
本活動は「大阪大学社会学共創クラスター」の取り組みの一つです。
[HTTPS://WWW.UCC.OSAKA-U.AC.JP](https://www.ucc.osaka-u.ac.jp)

阪大外国語学部 × みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン

◆毎月第3木曜 19:00-20:30 開催 ◆各受付日の朝9時から受付開始

2019年10月17日(木) 受付開始:10月7日

出産と子育て—インドの通過儀礼をとおして—

ヴェーダ・プラカーシュ・スィング (大阪大学言語文化研究科
特任教員)・長崎 広子 (大阪大学言語文化研究科准教授)

13億の人口を抱えるインドは、子供の多い国です。子供の誕生と成長は、出産前からはじまる通過儀礼をとおして、家族や親類縁者に見守られます。北インドのヒンドゥー教徒の家庭での子供の通過儀礼と大家族における子育ての役割分担についてご紹介します。また、現在日本で子育て真っ最中のスィング先生はインドと日本の出産・子育て事情の違いについてヒンディー語でお話します(通訳あり)。

2019年11月21日(木) 受付開始:11月5日

ことわざより見られるモンゴルの文化

塩谷 茂樹 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

モンゴルでは、一日は「ことわざで始まり、ことわざで終わる」といっても過言ではないくらい、日常生活でことわざを多用します。ことわざは、古来モンゴル民族の知恵の結晶であり、「最小の表現形式」で「最大の意味内容」を表す口承文芸の芸術作品です。モンゴルのことわざには、タブー、人生観、子供のしつけなど様々なものがあり、モンゴルと日本の文化の違いを垣間見ることができます。文化がことわざとして反映されるか否かは、一体何に起因するのか一緒に考えてみましょう。

2019年12月19日(木) 受付開始:12月5日

スペインの鉄道はいま高速化の時代

長谷川 信弥 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

もうすぐ北大阪急行が延伸して、箕面市にやってきます。今回は鉄道の話です。フランスやドイツの鉄道、あるいは発祥の地イギリスの鉄道のことは、日本でもよく知られています。高速化の時代を迎えているスペインの鉄道に乗ったという人の話を聞くことはありますが、まだそれほどは知られていないようです。そこで今回は、スペインの鉄道について、駅や列車の写真を見ながら楽しくお話しできればと思います。鉄道博物館にも行ってみましょう。

2020年1月16日(木) 受付開始:1月6日

私たちの身近にあるフランス語・フランス文化

高橋 克欣 (大阪大学大学院言語文化研究科准教授)

街中の広告や看板で、レストランやパン屋さんの店先で、新聞記事やテレビのニュースで、といったように、私たちのふだんの生活のさまざまな場面でフランス語の単語や表現などを目にすることがあります。今回はそのような形で実際に使われているものの中から興味深く思われる例をご紹介します。私たちの身近なところにフランス語やフランス文化への入り口が開かれているということ、みなさまと一緒に見てゆきたいと思います。

2020年2月20日(木) 受付開始:2月5日

うごめくフィリピン、その祈りと旅路

宮脇 聡史 (大阪大学大学院言語文化研究科准教授)

近年の着実な経済成長により、また日本との関係の強まりにより、注目が高まっているフィリピン。貧しい南国のイメージが強いのですが、時代ごとのグローバルパワーであるスペイン、イギリス、アメリカ、日本の影響下に置かれ続けたことにはあまり注目されていません。キリスト教化、近代化、グローバル化の最先端に触れ続け、世界の諸文化と交流しつつ個性を確立してきたフィリピンのダイナミクスと苦闘を探ります。

2020年3月19日(木) 受付開始:3月5日

タイの人々の日常生活と仏教

村上 忠良 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

現在、東南アジアで広く信仰されている仏教は、インドからスリランカを経由して伝わったもので、日本の仏教とは、さまざまな点で異なっています。しかし、それでも同じ仏教ですので、共通点も多くみられます。東南アジアの「仏教国」として知られるタイの人々の生活と仏教の関わりを紹介しながら、日本とタイの相違点と共通点をお話します。思想としての仏教ではなく、生活文化の中の仏教のあり様について理解を深めていただければと思います。

大阪大学大学院言語文化研究科院生・外国語学部生による公開プレゼンテーション

ベトナム編 ベトナムの文化を知ろう! ~阪大生が見た“生きた”学び~

ベトナム語専攻の学生が主体となり、自身が研究・フィールドワークや留学等で学んだことを報告いたします。

日時 2019年10月31日(木)19:00-20:30

申込み・問合せ 10月7日(月曜)から受付開始

会場 箕面市立みのお市民活動センター

箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局

参加費・定員 無料・先着24名

生涯学習・市民活動室 (TEL: 072-724-6729)

連携協力講座の
おしらせ

2021年4月、
阪大外国語学部は
箕面船場に移転します!



本活動は、
「大阪大学社会学共創クラスター」
の取り組みの一つです。
<https://www.ucc.osaka-u.ac.jp>

主催:大阪大学外国語学部・みのお市民活動センター
協力:大阪大学21世紀懐徳堂



市民が運営する

箕面市立

みのお市民活動センター



〒562-0013

大阪府箕面市坊島4丁目5番20号 みのおキューズモール WEST1-2F

TEL 072-720-3386

FAX 072-720-3387

箕面駅・粟生間谷方面から 阪急バス 千里中央行き かのの中央下車
千里中央方面から 阪急バス 箕面行き・粟生団地行き萱野小学校前下車
千里中央から(直通) みのおキューズモール行きシャトルバス かのの中央下車
石橋方面から 阪急バス 茨木行き 萱野小学校前下車
茨木方面から 阪急バス 石橋行き 萱野小学校前下車